

一般社団法人コンクリートメンテナンス協会主催
コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2017

電気防食技術の解説と応用

2017(平成29)年8月22日(火)

CP工法研究会・日本エルガード協会

株式会社ナカボーテック 小林浩之
(CP工法研究会 技術委員)

コンクリート構造物の電気化学的防食工法研究会

- コンクリート構造物の劣化を電気化学的な原理により防止する工法（電気化学的防食工法）の普及・発展のため創られた研究会
- 発足：1992年，現在の会員会社：19社

会 長	宮川豊章（京都大学 特任教授）
顧 問	関 博（早稲田大学 名誉教授） 福手 勤（東洋大学 教授） 武若耕司（鹿児島大学 教授）
事務局	東亜建設工業(株)内
HPアドレス	http://www.cp-ken.jp/

主な活動内容

- 普及活動の実施
- 学術研究の実施
（土研・材料学会）
- 設計施工マニュアルの作成
- 工法別施工実績調査

日本エルガード協会

- エルガード工法を核とした電気防食工法の普及と技術の研鑽
- 発足：2001年，現在の会員会社：23社
- 電気防食技術研究会：22社(コンサルタント)

会長 副会長	住友大阪セメント(株) ショーボンド建設(株)
顧問	福手 勤 (東洋大学 教授) 宮川豊章 (京都大学 特任教授)
理事	五洋建設(株) 東洋建設(株) (株)ナカボーテック 三井住友建設(株) 日本防蝕工業(株)
HPアドレス	http://www.elgard.com/

主な活動内容

- 特別記念講演
- 電気防食施工管理技術者
認定試験 (485名)
- 共同研究
(土研, 材料学会, 東洋大,
岐阜大, 鹿児島大, JCI)
- 技術講習会、ディスカッ
ションセミナー、発注者
セミナー
- 次世代技術者の会

1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

なぜ鉄は錆びる？



鉄：Fe



錆：Fe(OH)₂等

錆を分析すると鉄の水酸化物であることが分かる。
Fe(鉄)にO(酸素)とH(水素)が付くとFe(OH)₂(錆)になる！

ここが Point !

Fe は、O₂ と H₂O の共存によって錆びる
どちらかが無ければ錆びません！

腐食は自然現象

鉄は鉄鉱石(酸化鉄)を高温(1500°C以上)で製錬(還元)して製造します。

実は製錬された鉄はエネルギーが高く不安定です。

だから鉄は安定した元の状態(錆≒酸化鉄)に戻ろうとします。

つまり、鉄が錆びる(腐食する)ことは自然なことです。

製錬：還元反応(化学反応)



腐食：酸化反応(電気化学反応)



エネルギー高い
(不安定)
 $\Delta G^0 = 0$



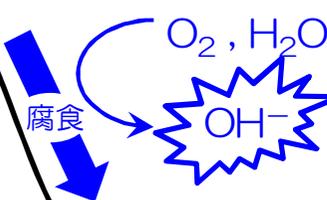
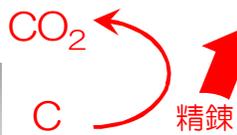
エネルギー低い
(安定)
 $\Delta G^0 = -727$

ΔG^0 [J·mol⁻¹]
標準自由エネルギー



酸化鉄：Fe₂O₃ (鉄鉱石)

Fe (鉄)



これが
なぜ電気化学反応？



酸化鉄：Fe(OH)₂ (錆) → 水分失いFe₂O₃

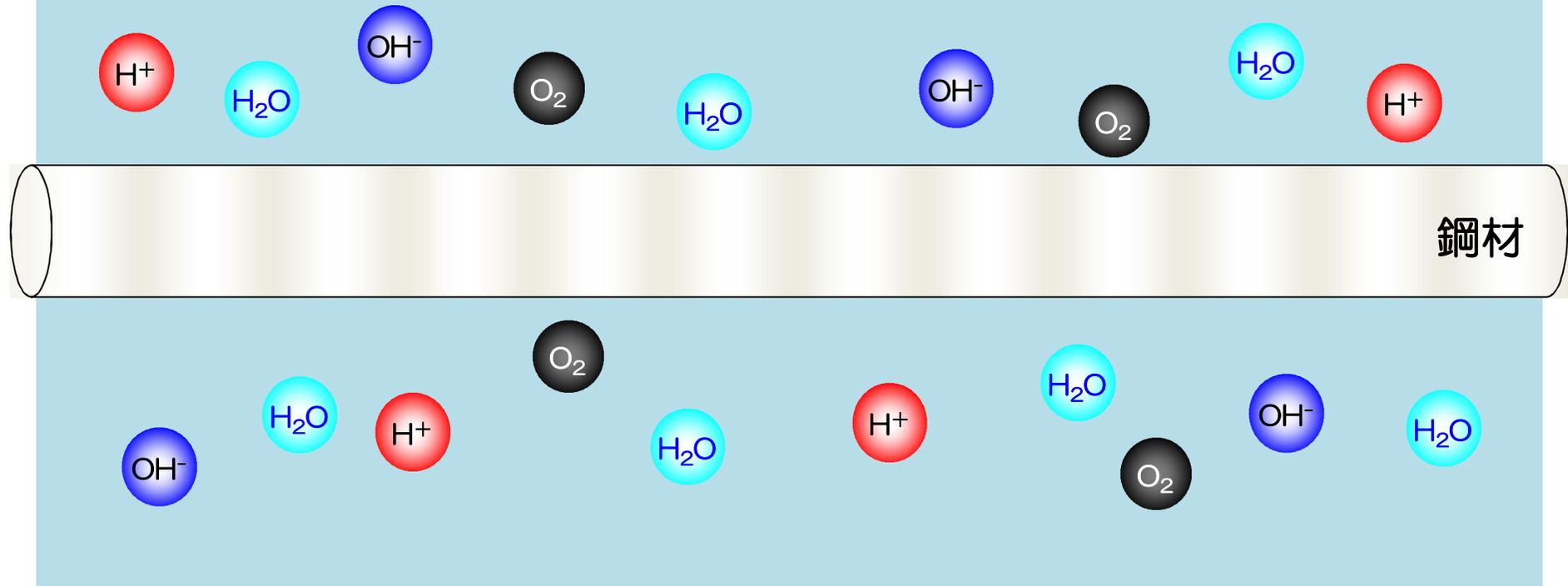
参考：鋼材倶楽部：土木構造物の腐食・防食Q&A, p3 (1992)

腐食(鉄が錆びる)の条件

- ①水分があること。また、**イオン**が溶けていること。超純水では錆びない。
- ②**酸素**があること。酸欠状態では錆びない。ただし、酸欠でも酸性側では錆びる。

(例)

- 海水や淡水。ただし、鉄板が海水や淡水に没していれば腐食速度はほぼ同じ。
- 大気。ただし、乾燥していると水膜ができないので錆びない。
- 酸性から中性の土。
- アルカリ性のコンクリートや土は錆びにくい。



錆びのメカニズム（電気化学反応で電流が流れる）

大気(湿度60%以上)
海水・淡水
土壌

④環境側では自由電子はなく水に溶けてる**イオン**が動き電流が流れる
 H^+ や Na^+ は ②→①, OH^- や Cl^- は ②←① へ動く
 腐食電流(イオン伝導)という

⑦ Fe^{2+} と OH^- で錆 $Fe(OH)_2$ になる

②例えば**酸素が少ない**環境
 鉄は電子を奪われ
 鉄イオンとなり溶けだす
 $Fe \rightarrow Fe^{2+} + 2e^-$

①例えば**酸素が多い**環境
 水に溶けている酸素が
 鋼材から電子を奪おうとする
 $1/2O_2 + H_2O + 2e^- \rightarrow 2OH^-$

環境側はアノード(陽極)という。

環境側はカソード(陰極)という。

⑤鉄が溶ける所が腐食する。
 鋼材側では負(-)極という。

⑥鉄が溶けない所は防食される。
 鋼材側では正(+)極という。 **鋼材**

⑧私達が目にする腐食は全てこの原理。
腐食電池という。
 電気と電気化学では極性が違う！
 電子伝導とイオン伝導があって始めて
 電流が流れ腐食が起こる。イオン伝導
 を止めて腐食抑制する対策代表が塗装！

③鋼材内では**自由電子**が動き電流の流れとなる。
 腐食電流(電子伝導)という。

⑨あるいは鋼材を何等かの方法で全てカソードに
 すれば防食できる！
 それが**電気防食(Cathodic Protection)**

コンクリートにおける鋼材腐食

塩害



ASR



鋼材腐食は
コンクリートに
致命的な影響を与える！

特に塩害は要注意！

凍害



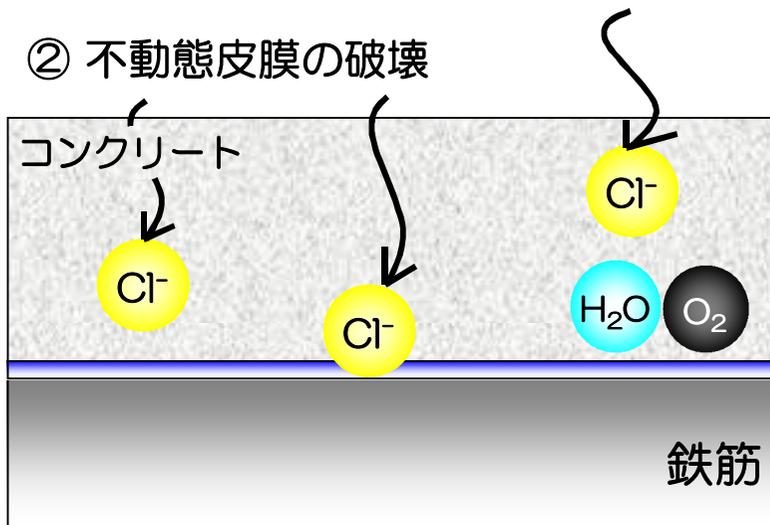
中性化



コンクリートの塩害と鉄筋腐食メカニズム

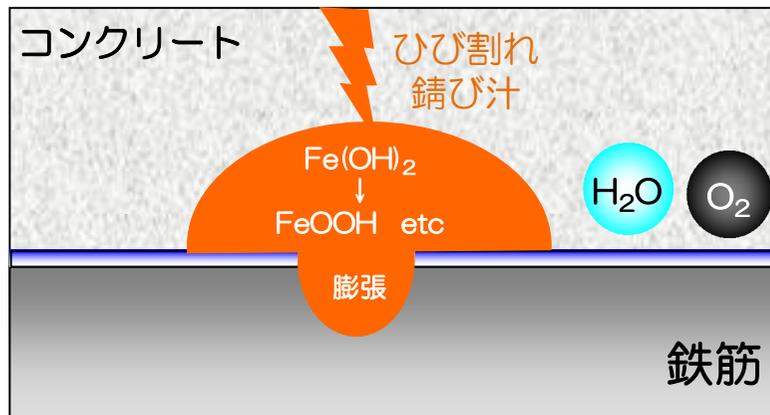
アルカリ源

② 不動態皮膜の破壊

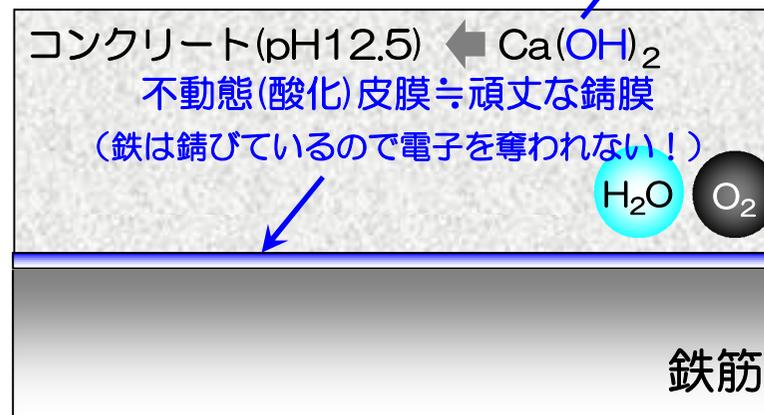


限界値以上の塩化物イオンが鉄筋近傍に到達すると不動態皮膜が破壊
(限界値：Cl⁻/OH⁻が小さいと再不動態化)

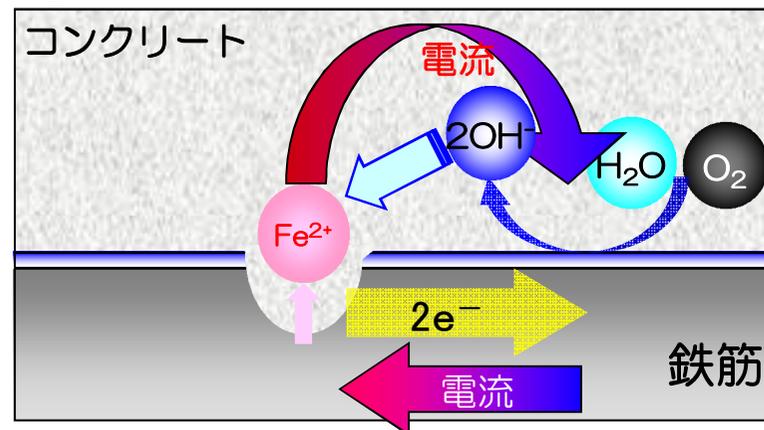
④ 錆の生成・成長



① 健全な鉄筋コンクリート



③ 鉄イオンの溶出



- 不動態皮膜が無ければ裸の鉄と同じ
- 中性化でも不動態皮膜は破壊される

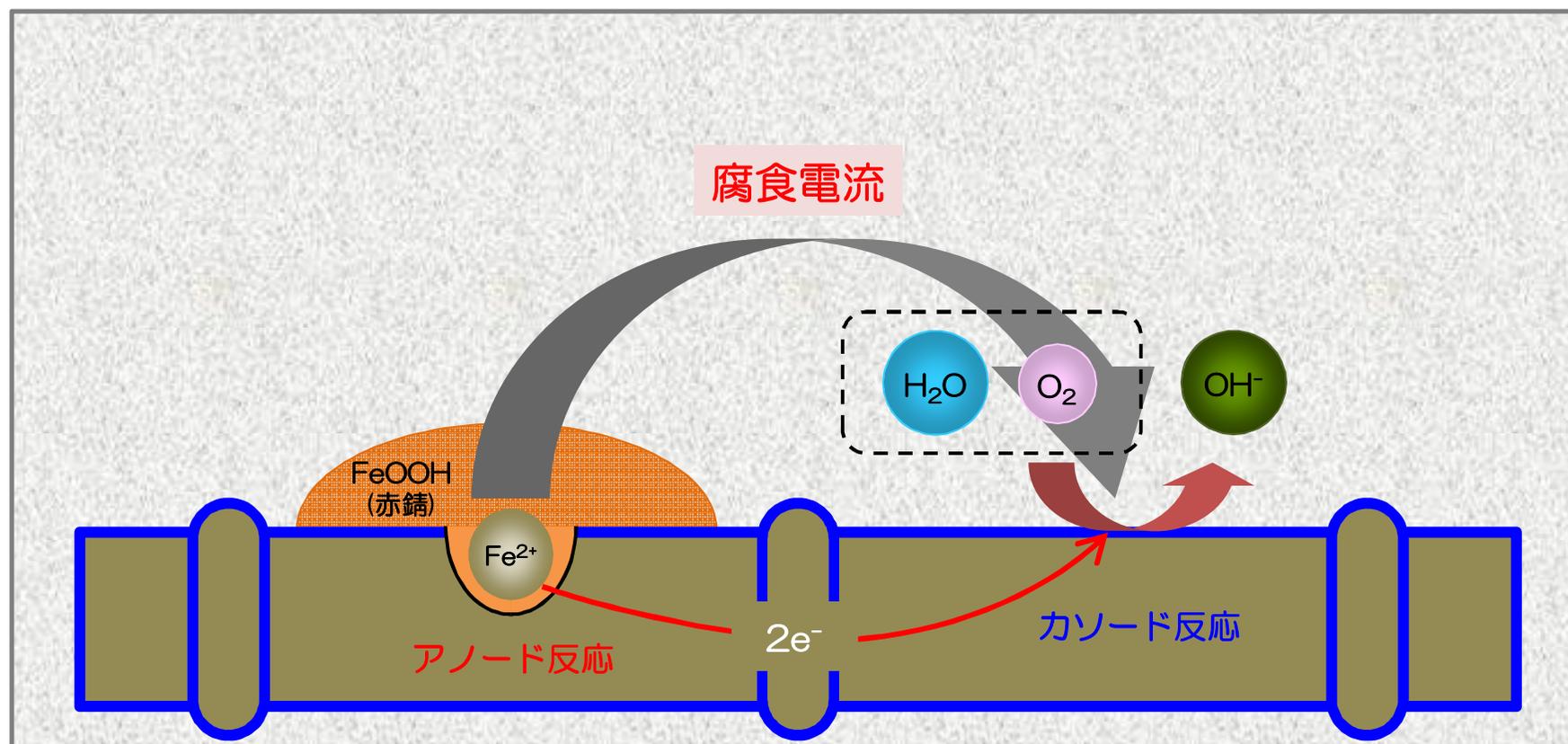
電気化学反応で腐食進行

1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

電気防食とは？

●電気防食適用前の鋼材表面

鉄の表面に腐食電池が形成され、腐食電流が生じている

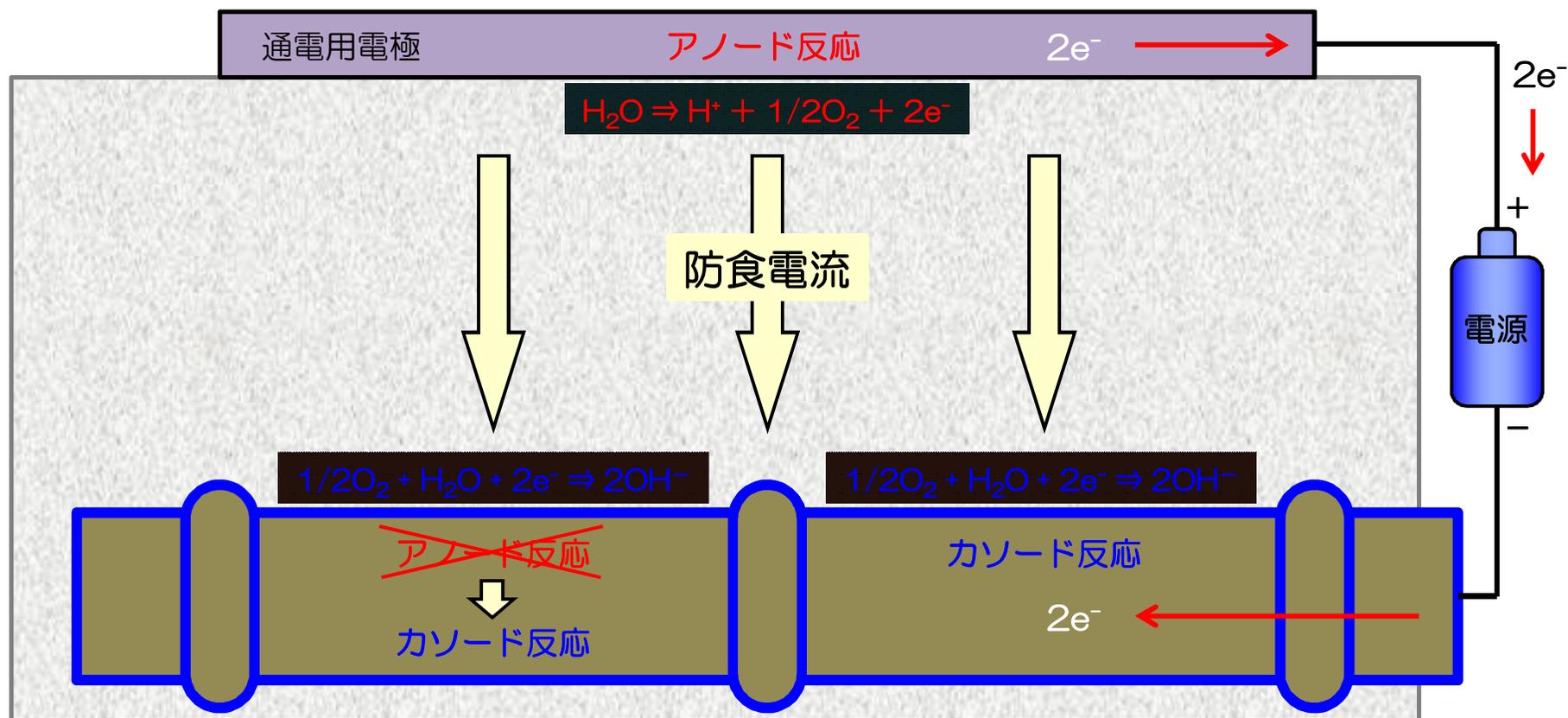


電気エネルギーによって電子の流れの向きを変えられれば腐食が抑制される

電気防食とは？

●電気防食適用後の鋼材表面（外部電源方式）

通電用の電極をコンクリート内部・外部に設置 ⇒ 外部電源を用いて通電

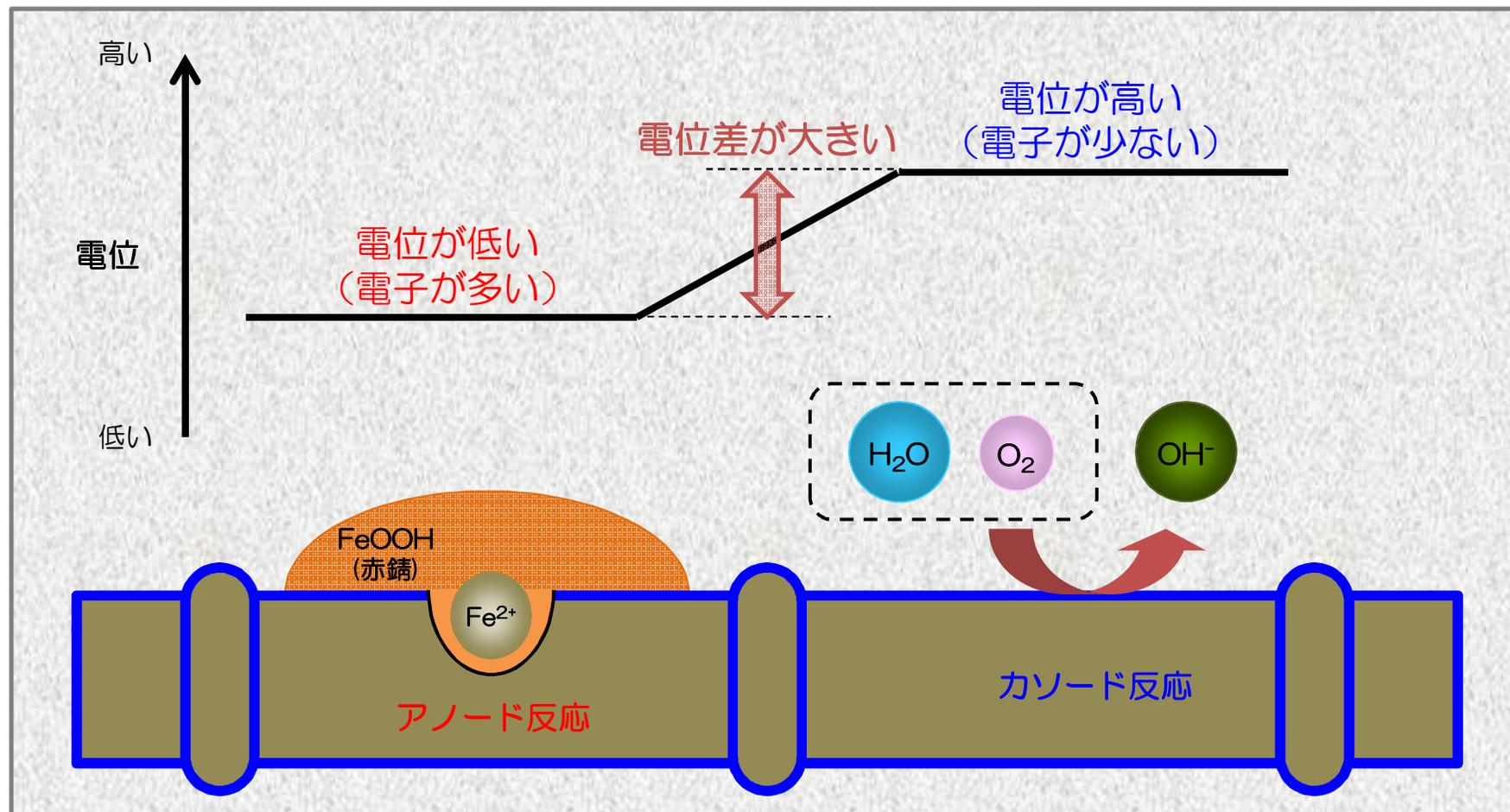


アノード(酸化)反応は全て通電用電極上で生じる ⇒ 腐食抑制

電気防食とは？

●電気防食適用前の鋼材表面

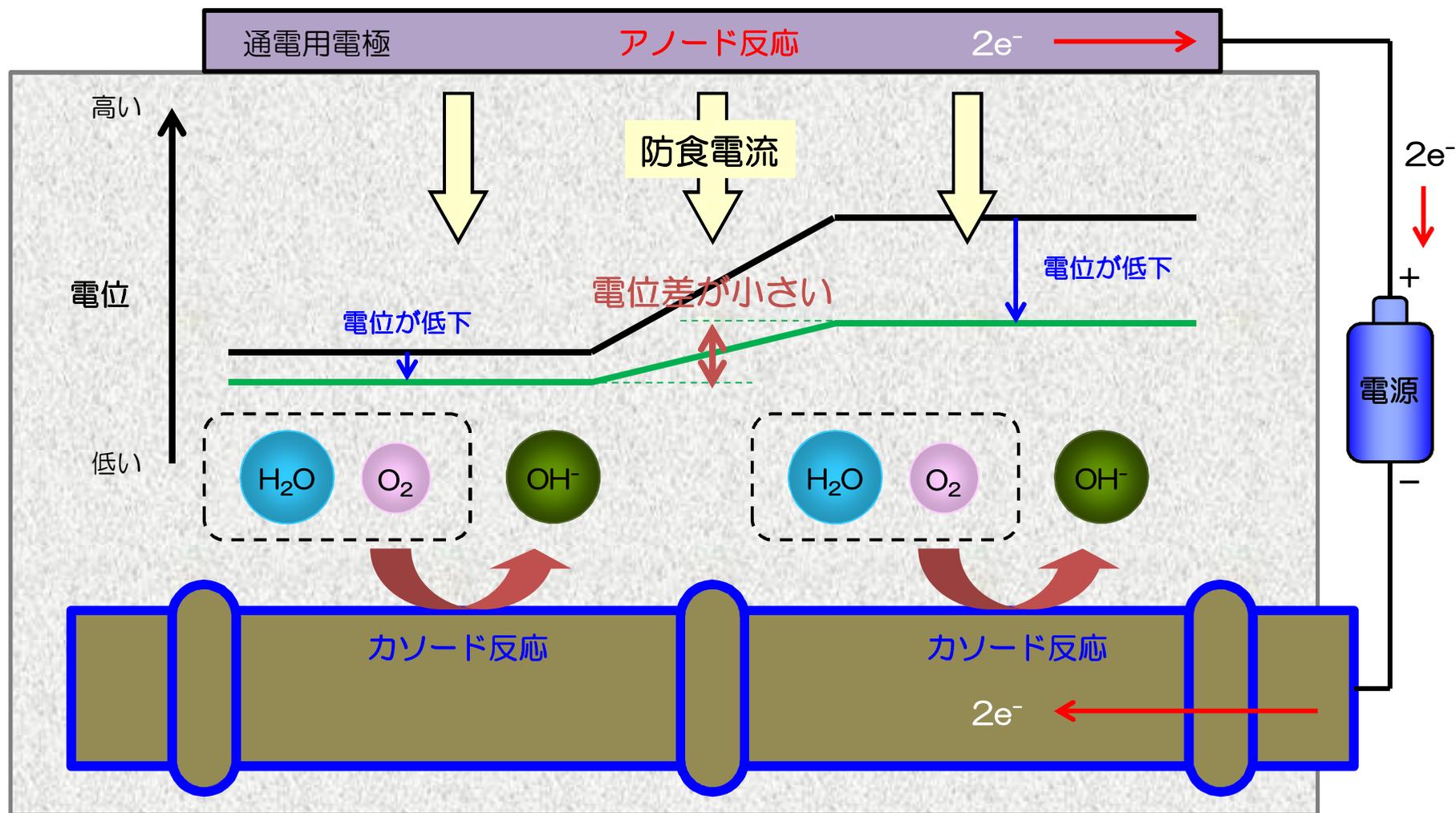
アノード部の電位は低く、カソード部の電位は高い



アノード部とカソード部の電位差により腐食電流が流れる

電気防食とは？

●電気防食適用後の鋼材表面（外部電源方式）

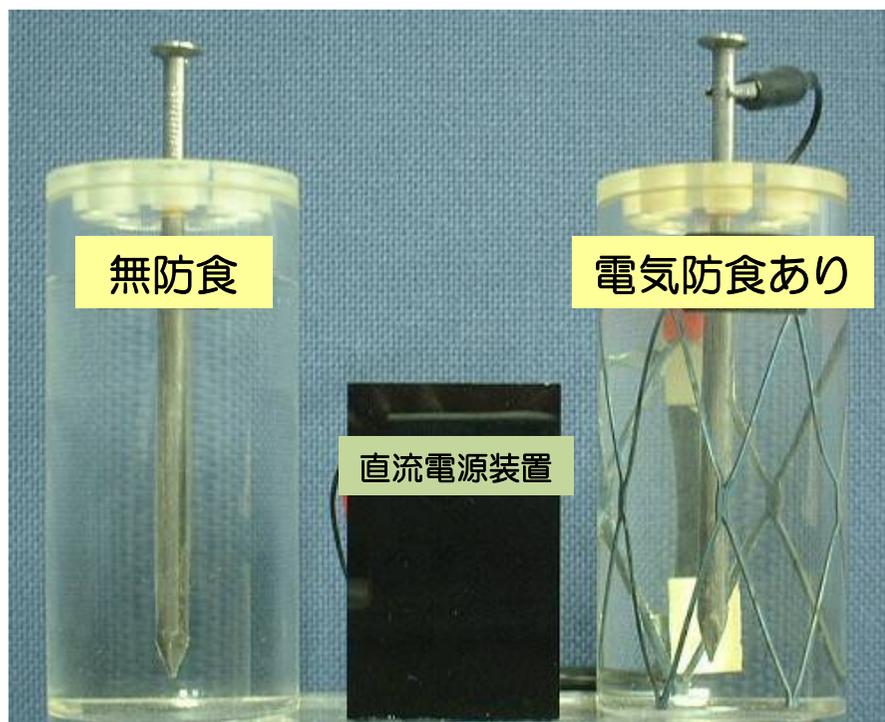


防食電流によって電位差が打ち消され、鋼材上の腐食電流が止まる

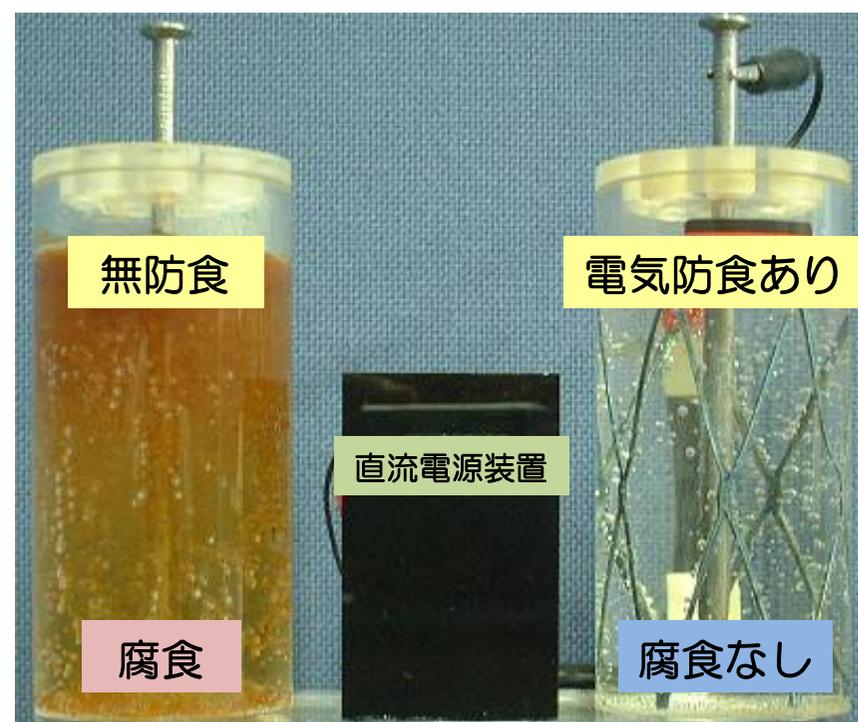
電気防食とは？

● 検証実験・・・食塩水に浸漬した鉄釘に電気防食を適用

《通電前》



《通電後》



出典：日本エルガード協会

電気エネルギーにより，鉄釘の腐食を抑制！

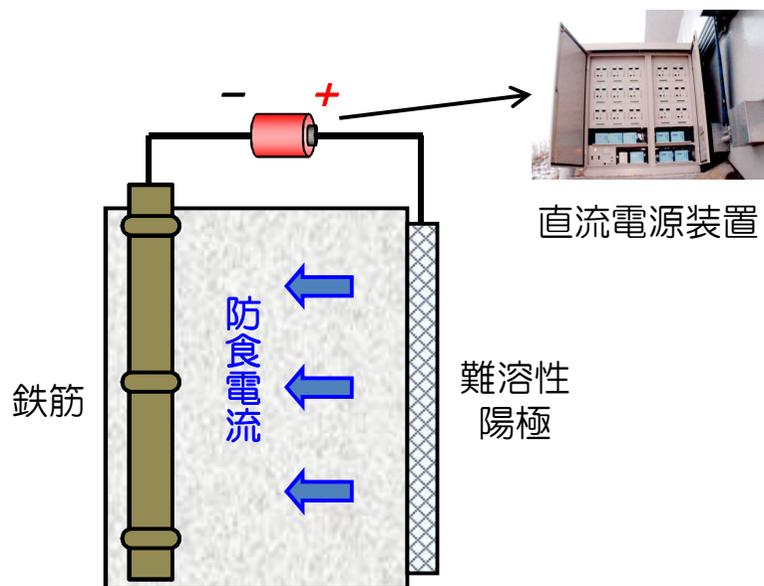
電気防食とは？

- 防食電流の供給方法によって2方式がある

電気防食工法

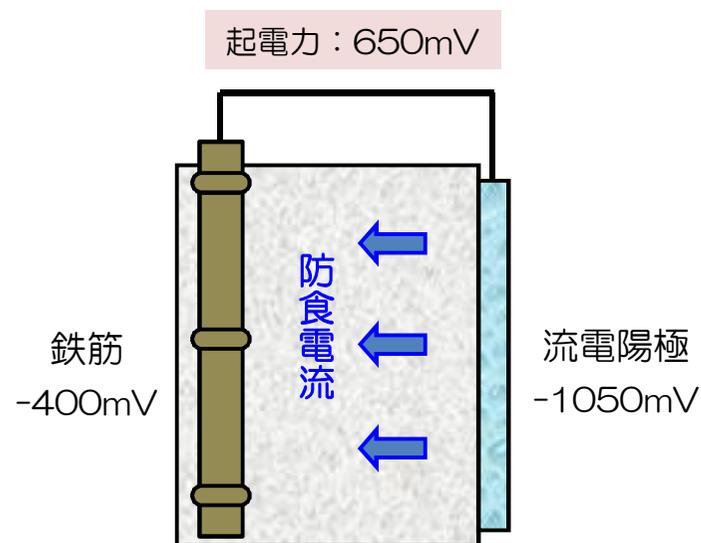
外部電源方式

直流電源装置を用いる
防食電流の調整可能



流電(犠牲)陽極方式

陽極と鉄筋の電位差を利用する
防食電流の調整不可能



電気防食の歴史

西暦	1800年代	1900年代	2000年代
海外	1824年 英国でDavyが軍艦銅外板を鉄犠牲陽極で電防したのが起源		
	1928年 米国でKuhnが埋設ガス管に電防を適用		
	1933年 Kuhnが電気防食基準-850mV vs.CSEを提唱		
	1973年 米国でStratfullがコンクリート橋梁に導電塗料を適用		
	1982年 FHWAが電防効果を確認		
日本	<p>【凡例】</p> <p>海水</p> <p>土壌</p> <p>コンクリート</p>	1919年 帝国海軍が戦艦三笠に電防用Zn陽極を適用	
		1930年 埋設管の電防研究を開始	
		1946年 天然ガス油井管に電防を適用	
		1952年 尼崎港の防潮堤閘門にMg陽極を適用	
		1962年 Al合金陽極が水中溶接の開発により急速に普及	
		1986年 土木研究所が旧洞川橋梁で外電電防試験を開始	
		1988年 清水港棧橋に亜鉛シート方式を適用	
		1997年 大井埠頭にエルガード外電電防を適用	

- 海中や土中の電防の歴史は古く豊富な実績がある。
- コンクリート構造物中の鋼材の電気防食への技術展開も海外で40年以上、国内で30年になる。

電気防食が有効な理由

- 電気防食は腐食反応を直接的に抑制する！
- コンクリートでは鉄筋の再不動態化も担う！

1) 腐食による再劣化はしない

電流を供給している間は腐食は進行しない

2) 多量の塩分が存在する環境でも防食可能

所定の防食電流を供給すれば腐食は進行しない

3) 塩分を含有するコンクリートの除去が不要

塩分の存在は電気防食上は全く問題ない

4) 鉄筋の防錆処理が不要

鉄筋の表面に錆びがあっても防食可能

※但し、できる限り取り除くことが望ましい

5) 防食効果の確認が容易

鉄筋の電位計測によって確認できる

1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

適用できる環境は？



- 一般的な鉄筋コンクリート構造物であれば適用可能である
- 大気中、飛沫帯、干満帯等の環境に応じて防食方式を選定できる
- 基本的に水中部のコンクリートは電気防食が不要である
 - ※ Cl⁻があってもコンクリートと水で腐食に必要な量の酸素が鉄筋に達しない事が近年分かってきた
- 供用しながらの補修，他の補修工法との併用，部材単位での適用が可能である

どのような調査が必要か？

特別な調査は不要！

基本的に塩害対策・最低限必要な調査は**外観目視**

- ①外観目視によるひび割れ・浮き確認！
最低限の断面修復量を確認
- ②鋼材位置での塩化物イオン量
フィック拡散式で供用年数内に発錆するか予測する
発錆するようならば電防は補修対策として有効
- ③腐食が顕在化していない場合は電気化学的測定
鉄筋腐食速度を推定し、ひび割れ発生が予測されれば
電防は補修対策として有効

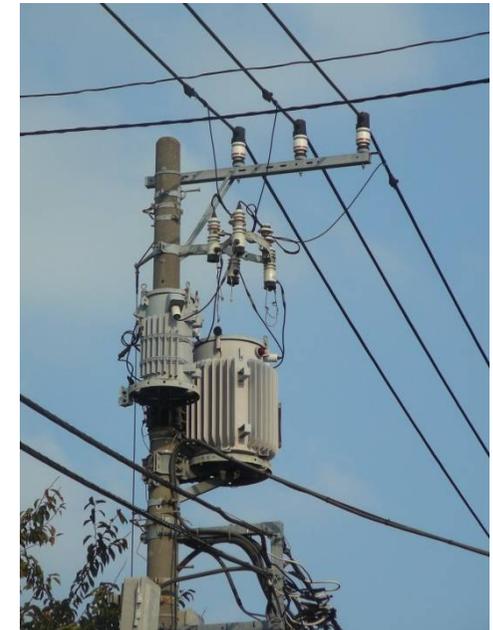
電源は？

流電陽極方式では電源不要

- 陽極(犠牲)と鉄筋を短絡するだけ！

外部電源方式では直流電源装置が必要

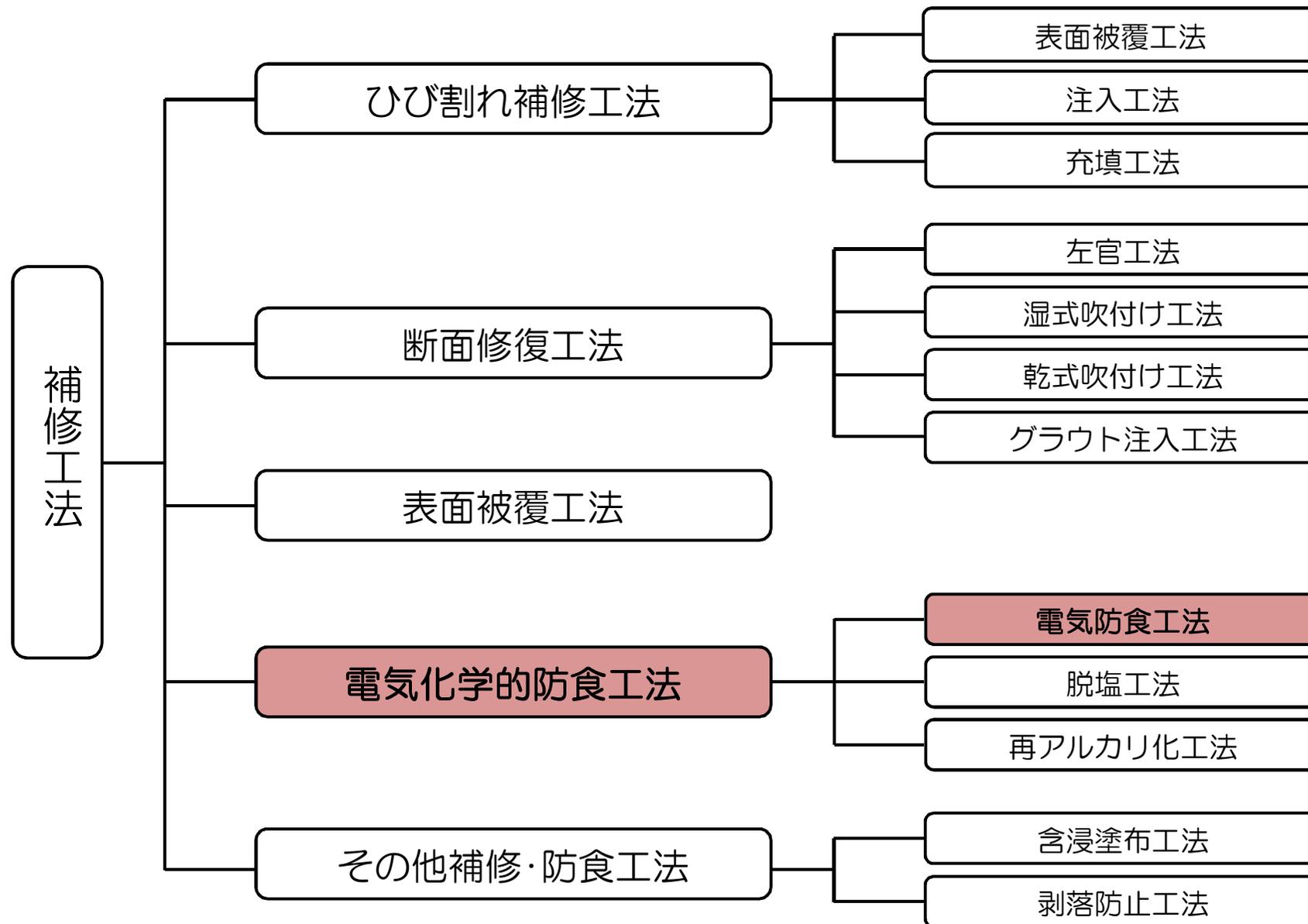
- 電柱や変圧器の有無を確認
- 施設近傍までの配電設備は電力会社負担
- 受電設備のみ利用者負担



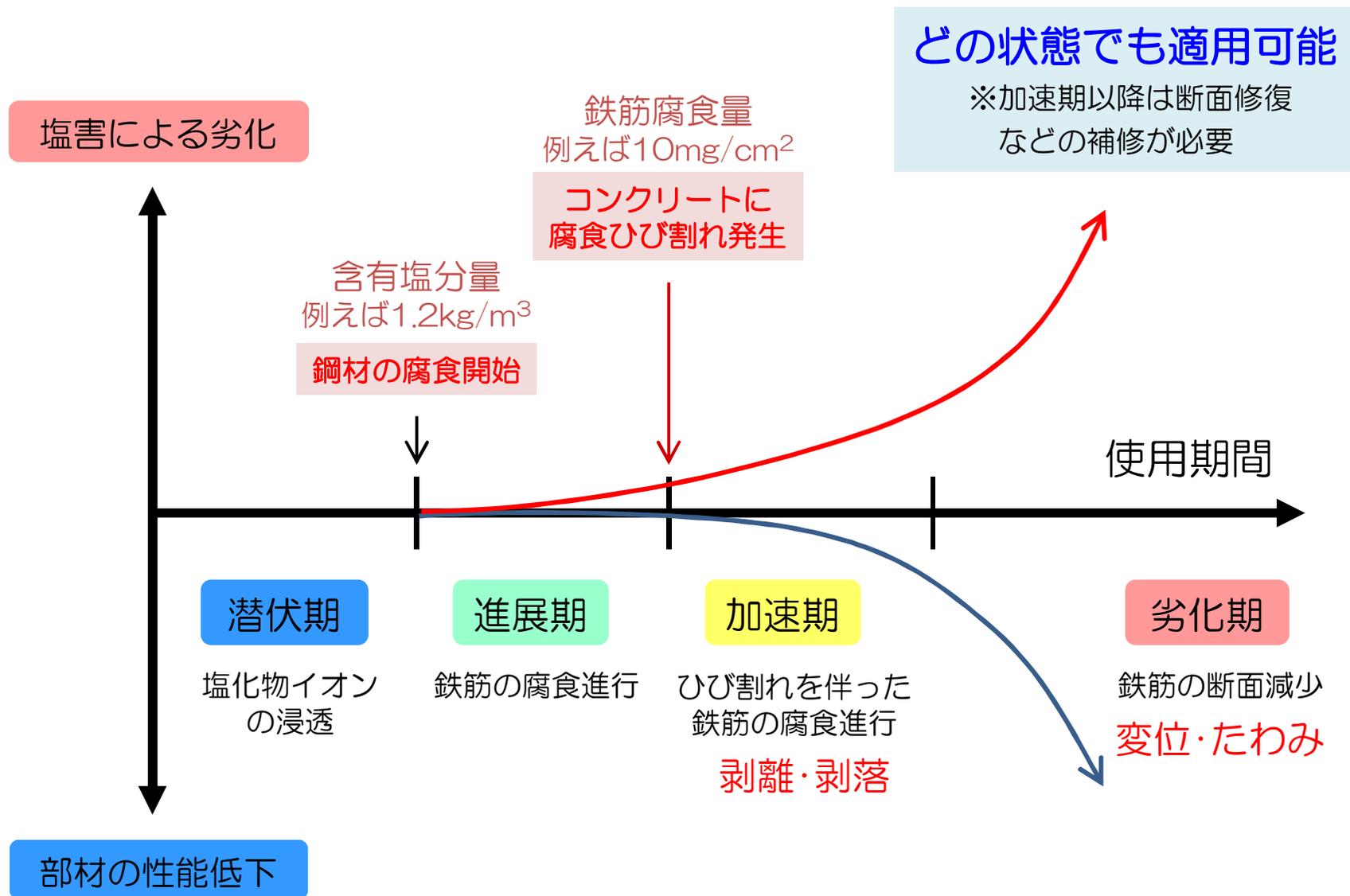
どうしても電源が無い場合...

ソーラーや風力などの自然エネルギーも利用可能

各種補修・防食工法



電気防食が適用できる劣化状態



LCC 前提条件

断面修復材 : W/C = 45%相当の材料を使用と仮定

初期修復時 : 両工法ともに40%の断面修復を実施

社会的割引率 : 両工法ともに適用なし

表面被覆工法

耐用年数 : 15年

断面修復 : 表面被覆再補修時に40%の断面修復を実施

維持費 : 定期点検費

電気防食工法

耐用年数 : 100年(陽極)

維持費 : 電気代, 防食効果確認試験費

陽極システム, 配線配管, 電源装置等の更新費

LCC コスト条件

各工法補修費用

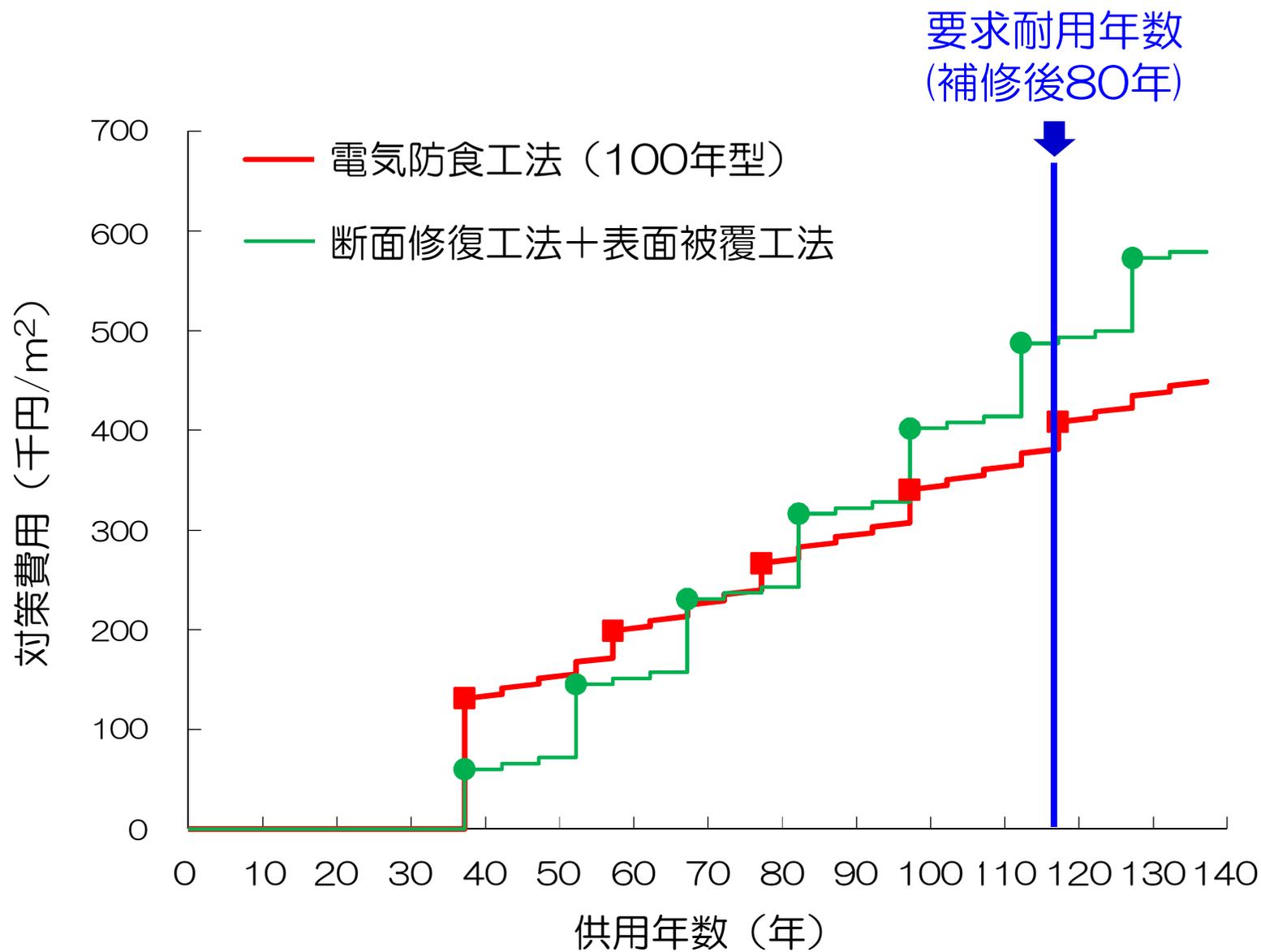
小断面修復工法	77,600	円/m ²
電気防食工法	89,000	円/m ²
表面被覆工法	17,600	円/m ² (初回)
	19,500	円/m ² (2回目以降)
仮設費	11,000	円/m ²

維持管理費用

電気代 (1回/年)	30	円/m ²
効果確認費 (1回/年)	800	円/m ²
配線・配管 (1回/20年)	8,000	円/m ²
電源装置 (1回/20年)	11,000	円/m ²
一般定期点検 (1回/5年)	6,000	円/m ²

参考：港湾空港技術研究所報告，第48巻第2号，2009.6

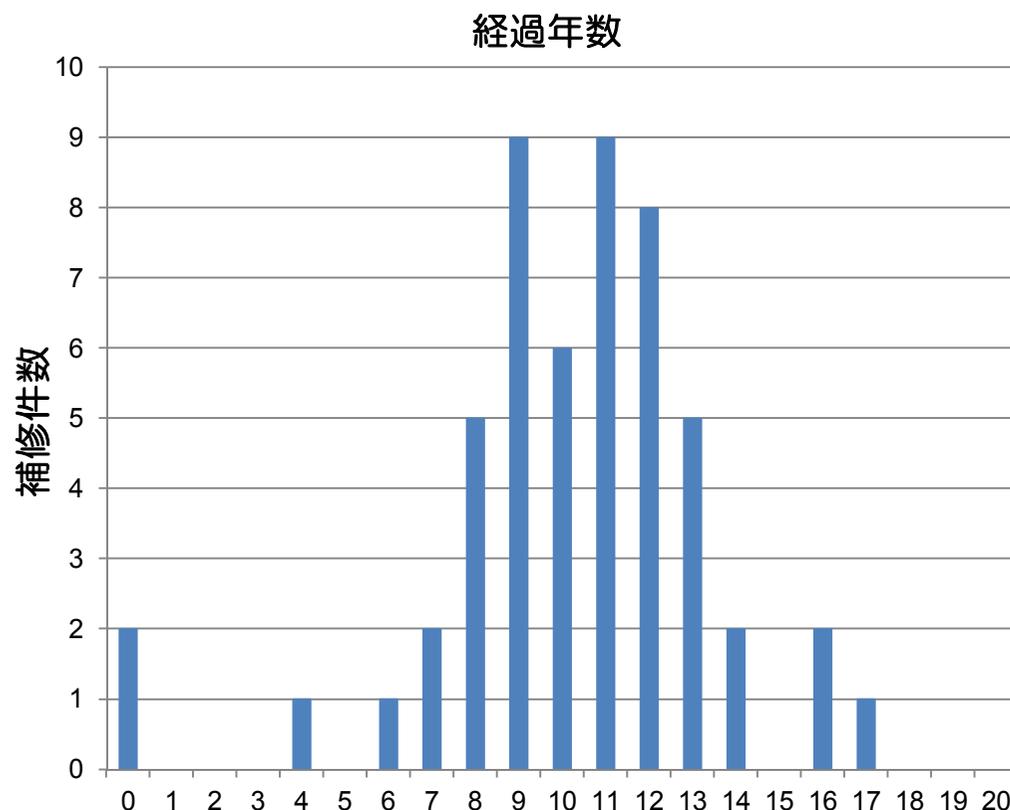
LCC 算定結果



電気防食の信頼性

- ①電気防食は腐食反応や再不動態化に直接関与する**抜本的対策**
- ②アメリカFHWA公式見解
 - ⇒ 鋼材腐食を止めることが確認された**唯一の補修方法**が電気防食
- ③国内のコンクリート構造物では30年の実績 ⇒ 約30万㎡

《経過年数8~25年で補修をした88橋の再補修実績》

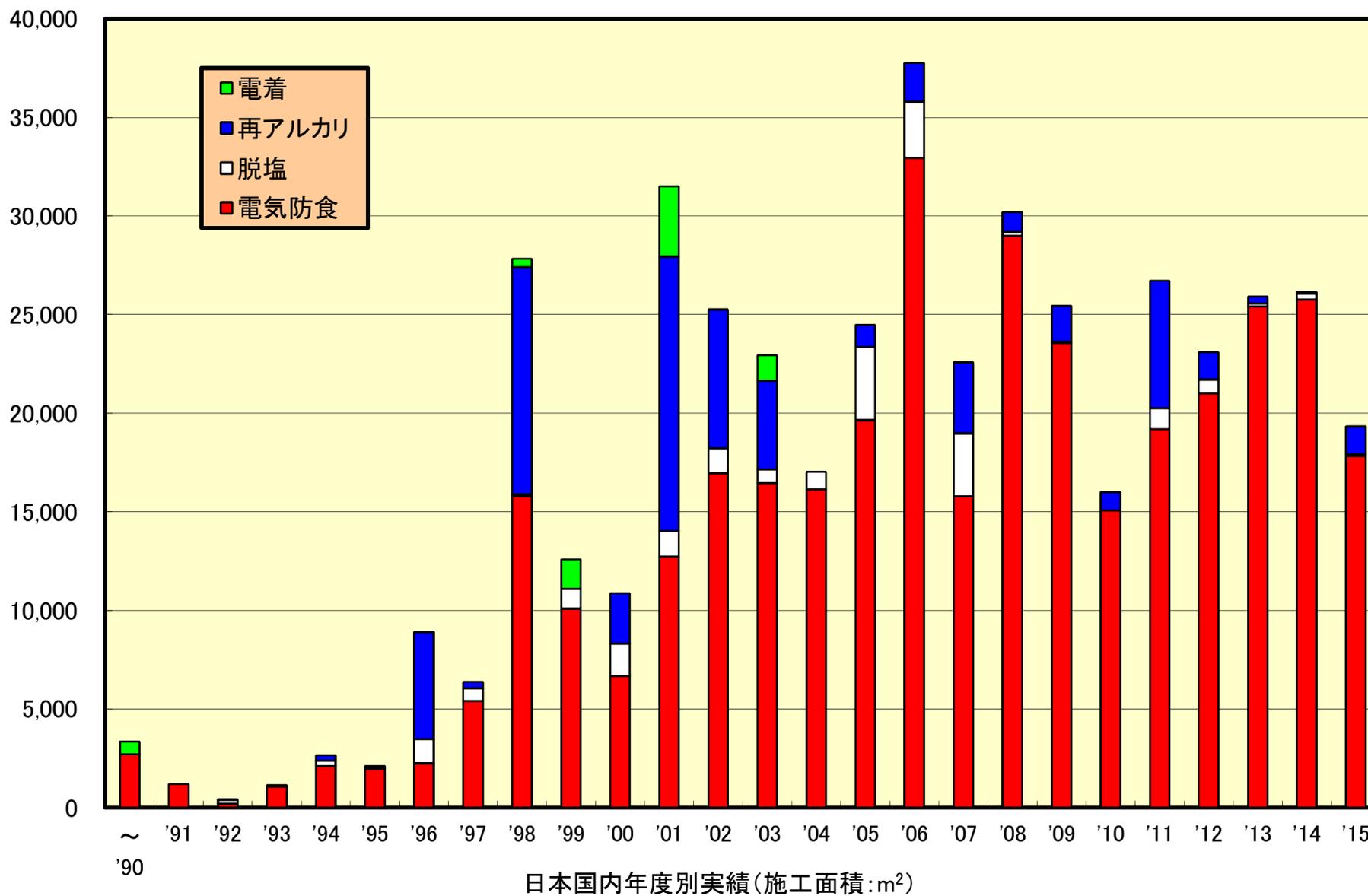


88橋の内、
53橋（60%）が再補修
初回補修より平均10年で再補修

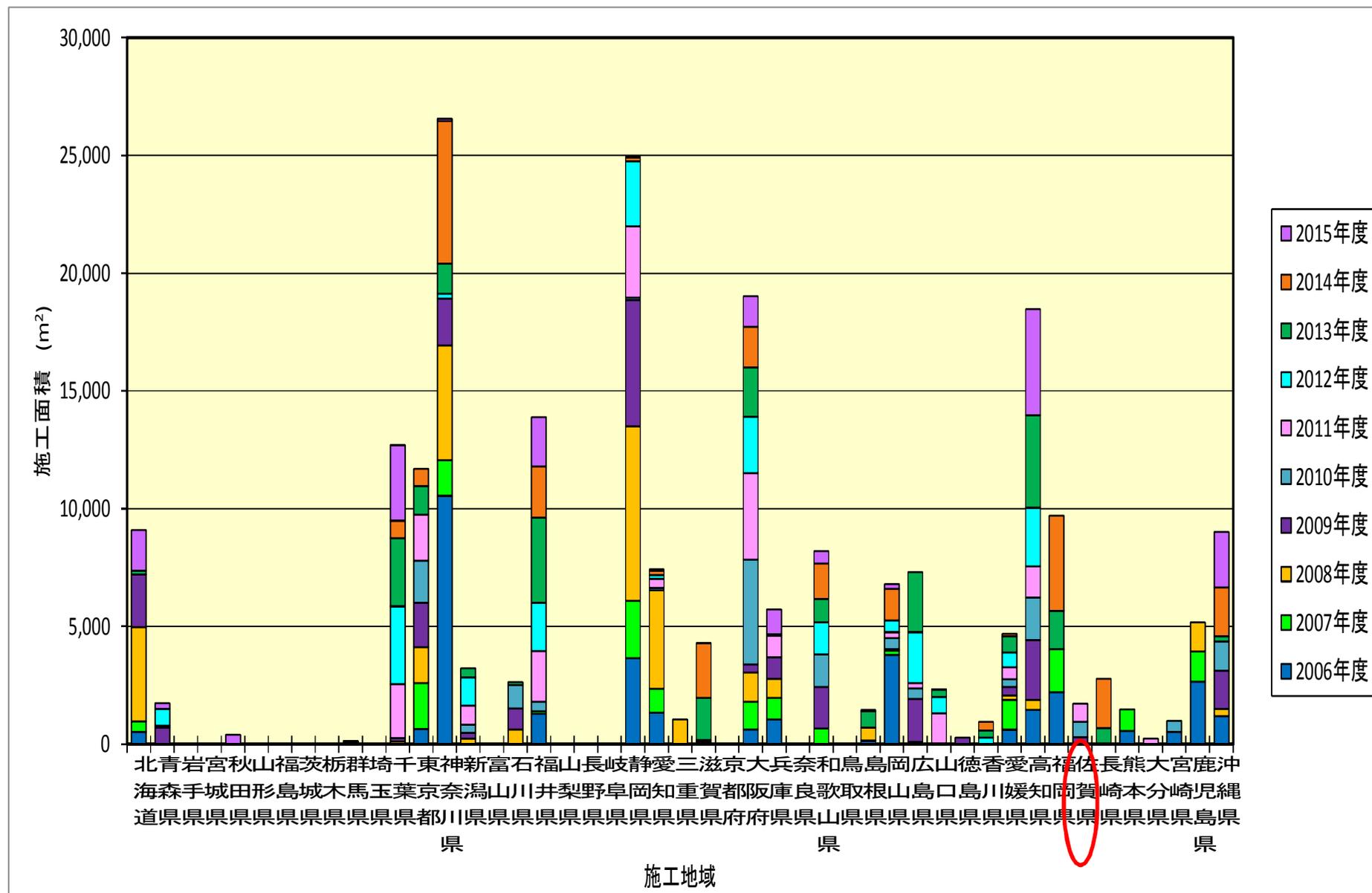
26橋（49%）は断面修復
25橋（48%）は補修・補強
1橋（2%）は表面被覆
1橋（2%）は電気防食

1回目の補修で**電気防食**を実施した3施設は**再補修無し**

電気防食の施工実績推移



電気防食の地域別施工実績(過去10年)



1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

電気防食のマニュアル類

① 電気化学的防食工法設計施工指針（案）

土木学会：コンクリートライブラリ107， 2001/11

② 電気防食工法研究委員会報告書

日本コンクリート工学会， 1994/10

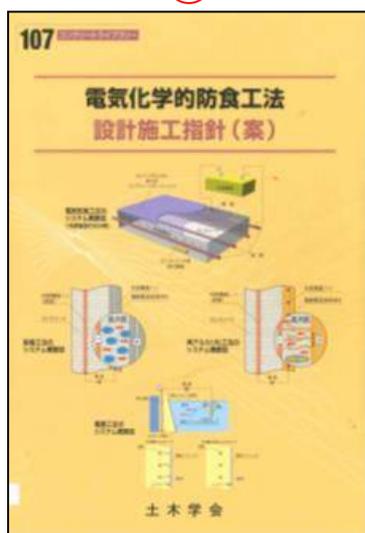
③ 栈橋劣化調査・補修マニュアル

東京港埠頭（株）， 2012/11

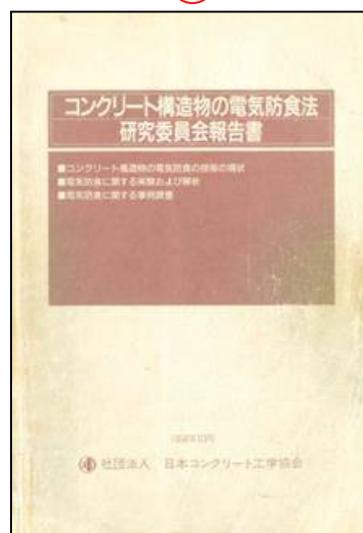
④ コンクリート構造物の電気防食Q&A

新建新聞社，日本エルガード協会編， 2008/5

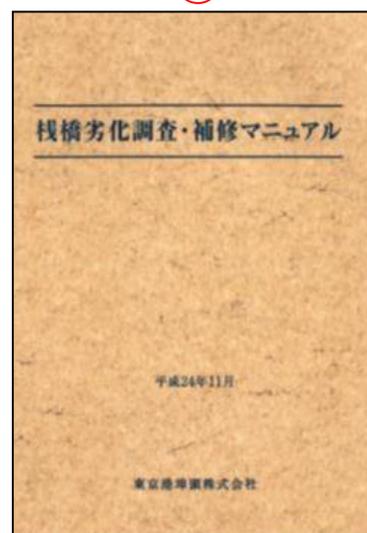
①



②



③



④



電気防食設計の急所

① 陽極の配置

1) 1 台の電源の防食範囲は500m²以下が目安。

2) 環境別に陽極が区画化されているか？

コンクリートの湿潤状態により電気回路抵抗が変わるので回路を分けておく必要がある。

3) 配筋量などに応じて陽極数量を変えているか？

配筋量が多ければ必要な防食電流も増えるので陽極数量も増加する。

② 電線の太さ・配置

1) 電線の太さは適当か？

電線の布設長さが長くなれば、電線抵抗も増すので、電線の径は太くなる。

2) 電線の配置はある程度細かいか？

陽極配置は①により区分されているので、それに応じた電線配置になる。

施工の実際1/2

①モニタリング装置設置工マーキング



モニタリング装置や陽極の設置位置をマーキングする。

③モニタリング装置設置工端子類取付け



排流・測定用端子を溶接する。
照合電極を鉄筋の近傍に設置する。

②モニタリング装置設置工端子取付部はつり



マーキング位置のコンクリートをはつり出し鉄筋を露出させる。

④モニタリング装置設置工鉄筋間導通確認



マルチメータを用いて排流線と鉄筋間の導通を確認し、
1mV以下であれば合格。

施工の実際2/2

⑤モニタリング装置設置工はつり部復旧



コンクリートと同程度の抵抗率を有する無収縮のモルタルで埋戻す。

⑦配線配管工配線配管



コンダクターバーとリード線をプルボックス内で結線し、直流電源装置まで配線配管を行う。

⑥陽極設置工溝切り,陽極設置,埋戻し



陽極を埋込むために溝切りを行う。
陽極・コンダクターバーを設置し修復材で埋戻す。

⑧直流電源設置工:電源設置,電流調整

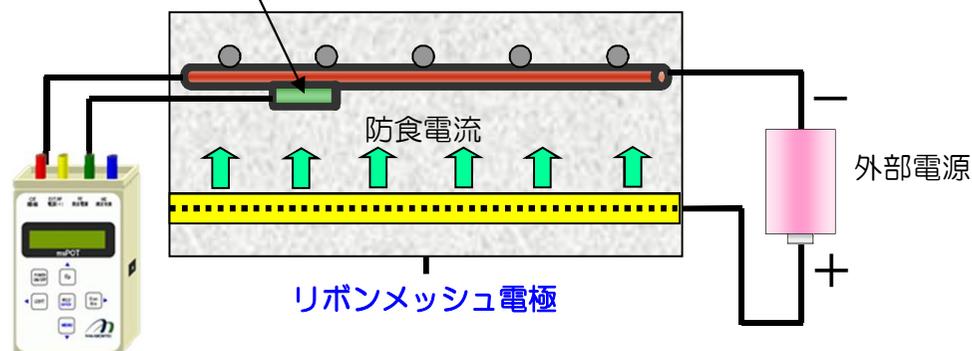


直流電源装置の設置，配線の接続を行う。通電調整試験によって防食電流を決定し，通電する。

電気防食工法紹介 「リボンメッシュ方式」

- リボンメッシュ方式は外部電源方式です。
- 最も施工実績の多い工法です。
- 陽極をコンクリート中に埋設します。

モニタリング装置



電位測定

施工概要

① 溝切形成



取付位置をマーキング後、所定の位置に電極を入れるための溝をサンダー等により形成します。

② リボンメッシュ電極設置



リボンメッシュ電極を溝内に設置し、表面を専用の材料で被覆後、通電のためのケーブルを接続します。

③ 配線配管



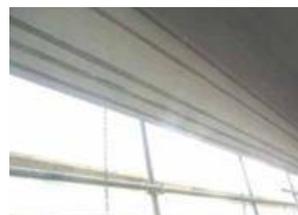
電極及び対象鋼材と接続させたケーブルを直流電源装置まで引き込み接続します。

④ 直流電源装置設置

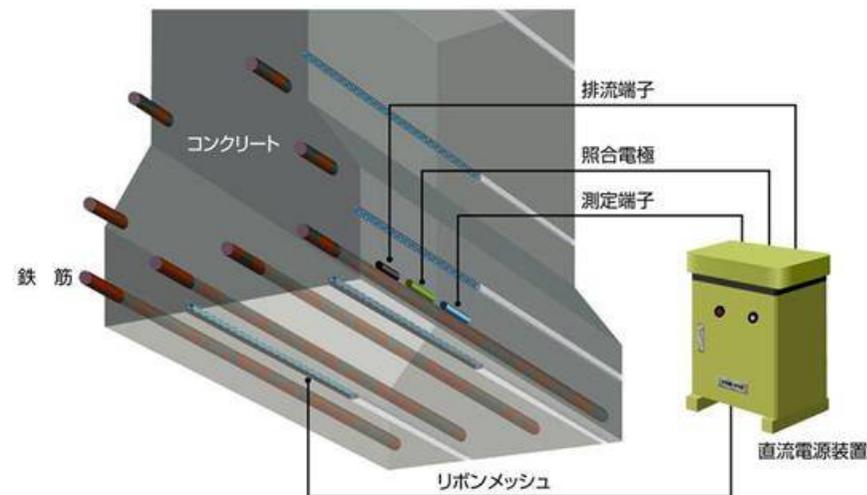


所定の位置にコンクリート基礎を設け、直流電源装置を設置します。

⑤ 完成



通電を開始して、電気防食の効果があることを確認します。

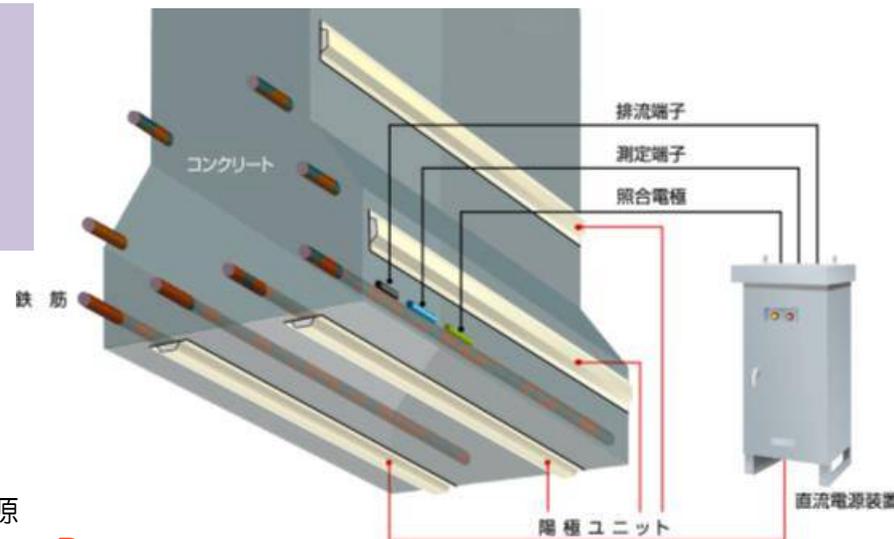
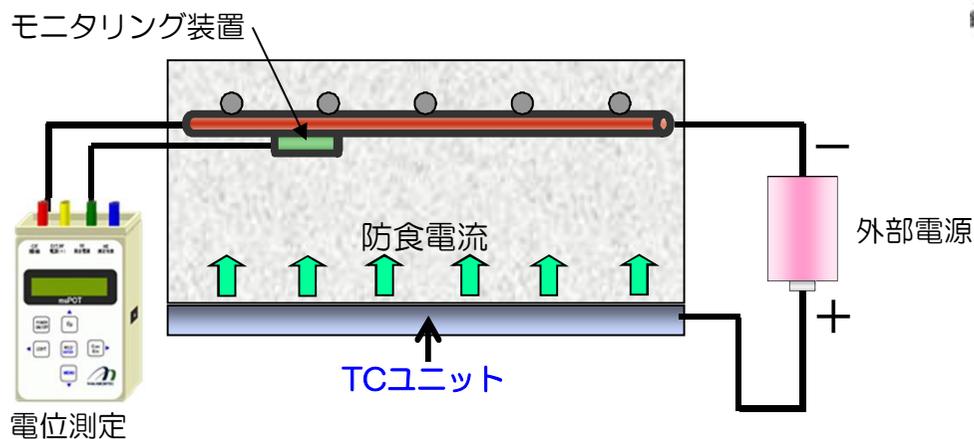


Point

- 複雑な構造物でも適用可能であり、実績が多い。
- 溝を形成するため、躯体を傷つける。
- 商用電力を使用するため、電気代が発生する。
- 電流調整を定期的に行う必要がある。

電気防食工法紹介 「TCユニット方式」

- TCユニット方式は外部電源方式です。
- 陽極ユニットをコンクリート表面に設置し、防食電流を供給します。



Point

- 既設塗膜の部分的な撤去で適用可能あり、躯体をほとんど傷つけずに施工可能。
- 海洋環境などへの適用は難しい。
- 商用電力を使用するため、電気代が発生する。
- 電流調整を定期的の実施する必要がある。

施工概要

① マーキング



FRPトレイ、照合電極、排流測定端子取付位置をマーキングします。

② 電極取付



陽極ユニットをチタンビスを用いてコンクリート表面に設置します。

③ 配線配管



通電用のケーブルを設置後、電極及び対象鋼材と接続したケーブルを直流電源装置まで引き込み接続します。

④ 直流電源装置設置



所定の位置にコンクリート基礎を設け、直流電源装置を設置します。

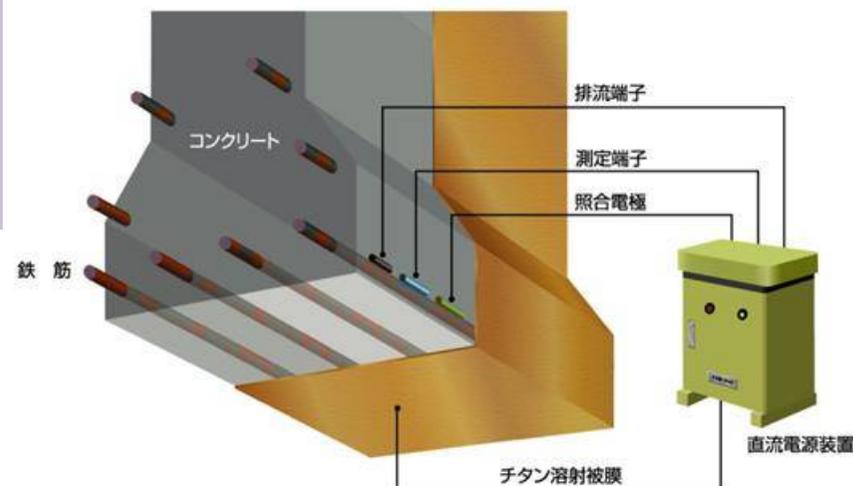
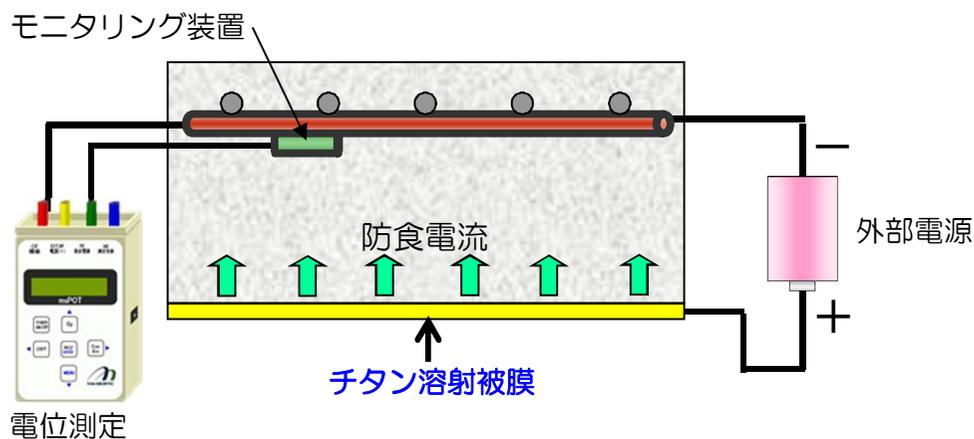
⑤ 完成



通電を開始して電気防食の効果があることを確認します。

電気防食工法紹介 「チタン溶射方式」

- チタン溶射方式は、外部電源方式です。
- コンクリートにアーク溶射したチタン被膜が陽極となり、防食電流を供給します。



Point

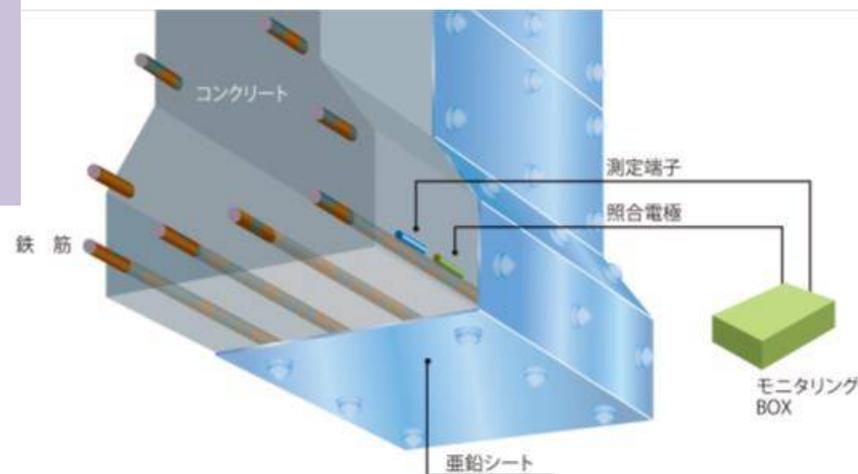
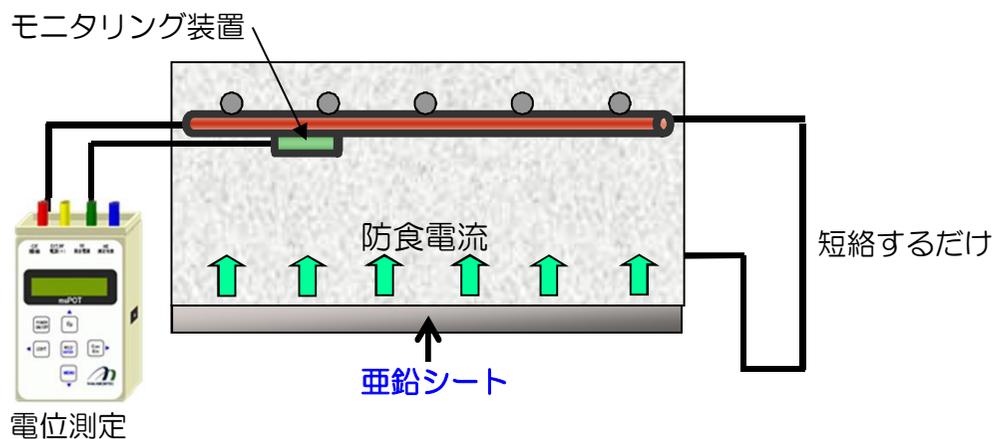
- 複雑な構造物でも適用可能であり、施工も安価である。
- 海洋環境など湿潤部への適用は難しい。
- 商用電力を使用するため、電気代が発生する。
- 電流調整を定期的の実施する必要がある。

施工概要

① 素地調整	② チタン溶射	③ 配線配管	④ 直流電源装置設置	⑤ 完成
刃削を用いた研削材により全面ブラストによる素地調整を行います。	高純度の矽をアーク溶射によりコンクリート面に吹付け電極皮膜を形成します。	通電用の矽板を設置後、電極及び対象鋼材と接続されたケーブルを直流電源装置まで引き込み接続します。	所定の位置にコンクリート基礎を設け、直流電源装置を設置します。	通電を開始して、電気防食の効果があることを確認します。

電気防食工法紹介 「亜鉛シート方式」

- 亜鉛シート方式は、流電陽極方式です。
- 鋼材と亜鉛の電位差を利用して、電池作用により防食電流を供給します。



Point

- 日本国内で最も古くからある工法であり実績が多い。
- 死荷重 (30kg/m²) が増加する。
- 商用電力を必要としないため、電気代が不要。
- 自動調整のため、電流調整を行う必要がない。

施工概要

① アンカーボルト取付



取付位置をマーキング後、ベースとなるアンカーボルトを取り付けます。

② 亜鉛シート取付



アンカーボルトにより、亜鉛シートを取り付け、固定します。

③ 結線処理



亜鉛シートに付属するケーブル同士を結線し、モニタリング装置まで引き込みます。

④ 端部処理



亜鉛シート間をエポキシ樹脂等を用いてシーリング処理します。

⑤ 完成



モニタリング装置より通電を開始して、電気防食の効果があることを確認します。

1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

電気防食のメリット・デメリットのおさらい

■ 電気防食工法のメリット

- (1) 腐食反応に直接関与する抜本的対策
- (2) どのような腐食環境でも確実に防食
- (3) 塩分を含んだコンクリートの除去不要
- (4) 鉄筋の防錆処理が不要
- (5) 防食効果の確認が容易

■ 電気防食工法のデメリット

- (1) イニシャルコストが割高である
- (2) 維持管理が手間である（よくわからない）
- (3) 電気代がかかる（外部電源方式の場合）

1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

電気代はどの程度？

● 1人暮らし向けの冷蔵庫

75L：年間消費電力243kWh

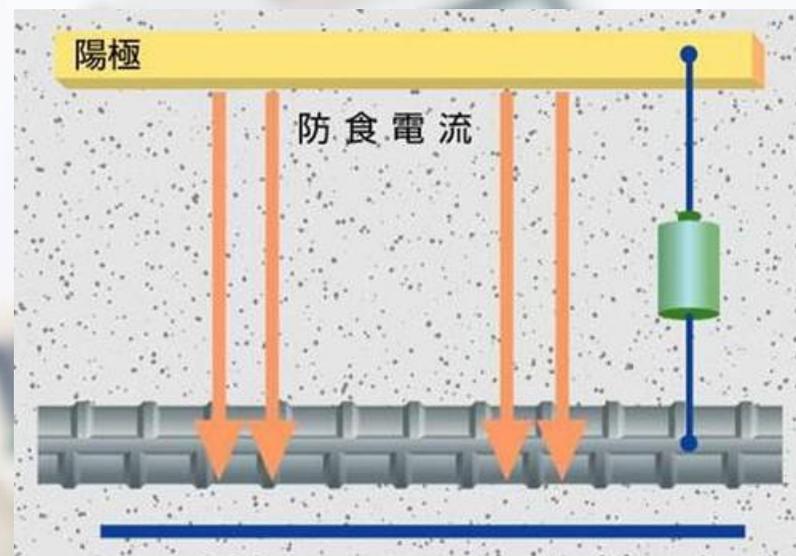
$243\text{kWh} \times 25.91\text{円} = 6,296\text{円}$



● 電気防食

500m²：年間消費電力219kWh

$219\text{kWh} \times 25.91\text{円} = 5,674\text{円}$



防食面積	500m ² (1回路あたり最大)
通電電圧	5V(過去実績より)
防食電流	2.5A(500m ² × 0.005A/m ²)
交流から直流への変換効率	50%
年間消費電力	$5\text{V} \times 2.5\text{A} \div 50\% \times 8760\text{h}$ = 219kWh

適用後に管理者がやるべきことは？

点検	概 要	頻度
日 常	維持管理者が定期的に目視可能な箇所について点検記録する 直流電源装置の運転ランプが点灯していることを確認する。	1回／月 管理者
定 期	専門知識を有する調査員が定期的に異常個所の有無を点検記録する 専門家による電位変化量の確認と適切な電流調整	1回／1～2年 専門メーカー コンサル
詳 細	専門知識を有する調査員が定期的に異常個所が確認された場合や天災などの異常時に実施する	1回／5年 (異常時) 専門メーカー コンサル

管理者の点検

日常点検で受電ランプと運転ランプの点灯を確認する。

受電ランプ

運転ランプ



柱上(ちゅうじょう)型

受電ランプ

運転ランプ

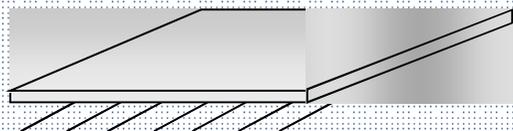


自立(じりつ)型

施工者は管理者がランプを目視確認しやすいように電源装置の立地・方向性を管理者と協議し設置する。

電気防食の種類？ その違い？

面状陽極



防食対象に対して陽極材を面状に設置

防食電流の均一性に優れる

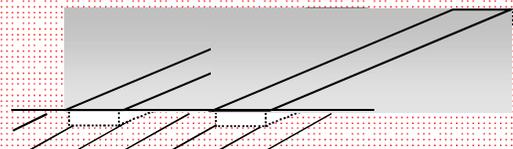
複雑な形状の構造物への設置は難しい場合がある

死荷重が増加する場合がある

美観に優れる

表面塗装の撤去必要

線状陽極



防食対象に対して陽極材を線状に設置

配筋量などに応じた陽極設置が可能

複雑な形状の構造物への設置は概ね容易

死荷重が増加はあまりない

線状の模様が付く

工法によっては表面塗装の撤去不要

いずれも防食効果に違いは無い！

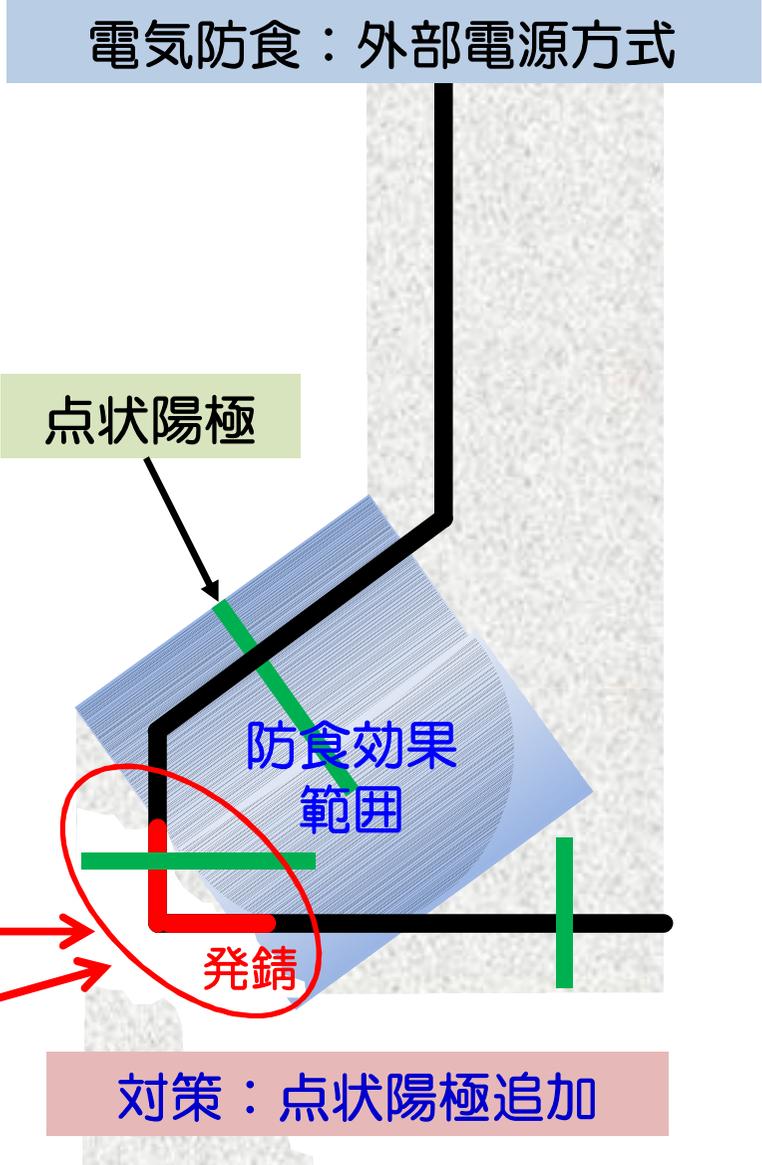
※図：コンクリート構造物の電気防食 Q&A 日本エルガード協会編から一部抜粋

電気防食に失敗はないか？

- 陽極配置不足による防食効果不足



剥離・剥落箇所



防食効果不足

他に電気防食に失敗はないか？

● 陽極周囲の充填モルタルの変色

現在では変色無し！

【原因】

電流を流しすぎたため、陽極周辺のpHが低下



充填モルタルの劣化・変色



【対策】

- 陽極かぶりを十分にとる
- 陽極設置数量を増やす
- 耐酸性モルタルに改良
- 定期的に補修する（モルタル充填）

その他の問題は？

● 自然災害等の不可抗力



原因：落雷
対策：修理
予防：材質変更
(金属製)
設置位置
(物陰)

流木が衝突しプルボックス破損



原因：落雷
対策：取替
予防：避雷器類

落雷による過大電流で電子部品焼損

● 経年劣化



原因：紫外線
対策：修理
予防：材質変更
材料変更
(エルボ)
設置位置
(物陰)

経年劣化で応力負荷部劣化



原因：経年劣化
対策：取替
予防：定期清掃
定期取替

経年劣化でゴムパッキン劣化

1. 鉄筋の腐食とは？
2. 電気防食とは？
3. 劣化対策としての電気防食の位置づけ
4. 電気防食の設計・施工の実際
5. 電気防食のメリット・デメリット
6. 電気防食Q&A
7. 技術発展に向けた取り組み(トピックス)

公益団体との共同研究

①日本材料学会(CP工法研究会・エルガード協会他)

- コンクリート構造物の電気化学的防食工法の合理化に向けた調査研究
- 土木学会「コンクリートライブラリー107」の改訂に向けた取り組み

②土木研究所(東北大学・CP工法研究会・エルガード協会他)

- 電気防食工法を用いた道路橋の維持管理手法に関する研究
- 電気防食適用橋梁の実態調査
- 電気防食工の技術整理、**間欠通電適用検討**、電気防食システム標準化
(新たな活用)

③日本コンクリート工学会-JCI-(エルガード協会他)

- 軍艦島共通試験

④東洋大学(エルガード協会)

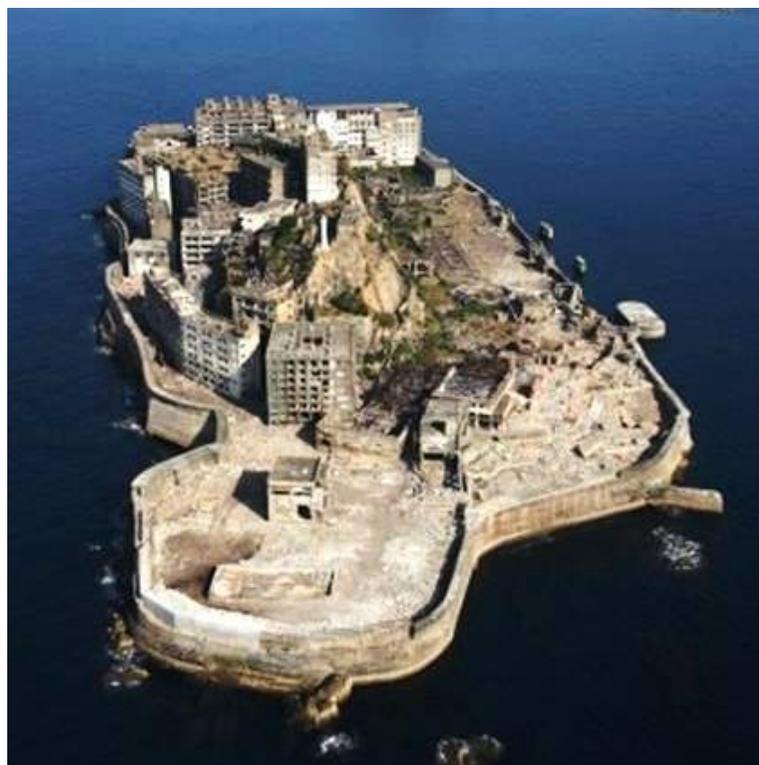
- 干満帯の電気防食基準 ConMat2016で成果発表

⑤岐阜大学(エルガード協会)

- 電気防食のLCM研究

トピックス

世界遺産 軍艦島での 電気防食の長期性能検証試験に**チャレンジ!!**



協会会員5社との協同応募

日本エルガード協会
東洋建設
ショーボンド建設
ナカボーテック
日本防蝕工業
住友大阪セメント

ご清聴ありがとうございました。